

2016.1.18
第1088回例会

2015～16年度
国際ロータリー会長 K・R・ラビンドラ
第2790地区ガバナー 櫻木 英一郎
第3分区分Aガバナー補佐 山本 康昭

CHIBA-HIGASHI ROTARY CLUB Weekly Report



Be a gift
to the world

世界への
プレゼントになろう

地区テーマ 「原点を知り、考える」

会長テーマ 「ロータリーを知り、楽しもう」

会長 武田 康
幹事 穴倉 壽夫

本 日 の お 客 様

米山記念奨学委員	石田 善一 様
米山奨学生	王 怡 韻 様
東京江戸川RC	稲山 雄一 様
鳴海会員のお客様	江上 俊彦 様

会 長 挨 拶

武田 康 会長



「将来の日本の生きる道は平和しかない、その平和日本を世界に理解されるためには、アジアの国から一人でも多くの留学生を日本に受け入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉

仕事業ではないだろうか。」

この文章は、ロータリー米山記念奨学会史に記載されています。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本のロータリーが共同で運営する奨学財団であります。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。事業の使命は、将来、日本と世界とを結ぶ架け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す平和と国際理解の推進そのものです。年間の奨学生採用数は、約700人、事業費は、12億円を超えるもので、外国人留学生を対象とした民間奨学金では、国内最大規模であります。この2790地区では、会員一人あたり15000円程度の寄付を目標値にしています。みなさんのご理解とご協力によりこの目標金額は達成されています。日本全国に34地区ありますが、上から13位ぐらいです。寄付金の多さは、地区に割り当てられる奨学生の人数に関係致しません。地区に割り当てられる米山奨学生は、このように決められます。

1：その年度の日本全体の寄付金収入予測に基づいて、全体の採用数をきめます。 201

ゲ ス ト 卓 話

米山記念奨学委員 石田 善一 様



米山奨学生 王 怡韵 様



- 5年度は 720 人でした。
- 2：全体の採用数の50%を、地区ごとの個人平均寄付額によって割り当てます。
 - 3：全体の採用数の40%を、地区ごとの寄付金総額によって割り当てます。
 - 4：全体の採用数の10%を、地区ごとで米山奨学金に応募資格のある留学生によって割り当てます。

このようにして、当2790地区には24名が割り当てられました。前年度より2名増加です。地区では、この24名を地区の指定校から推薦を受けた留学生の中から選考試験を実施して採用しております。皆様のご理解とご協力により米山記念奨学会事業は順調に推移しております。

幹 事 報 告

宍倉 壽夫 幹事



- ◇ 理事会の報告です。2月1日はクラブフォーラムです。議題は「次年度の社会奉仕活動について」を議題とします。2月7日の日曜日は地区大会です。15日はゲスト卓話として若潮RCの綱島さんに介護施設の現状について卓話をお願いします。22日クラブフォーラムとして加藤クラブ管理運営委員長による委員会活動についてお話をさせていただきます。27日の土曜日は千葉西ロータリークラブの40周年記念例会が開催されます。これは全員登録です。
- ◇ 地区からの連絡です。地区大会に一般参加者を募集しています。ゲストとして地区大会を見学してもらいたい方がいれば事務局まで申し込みしてください。
- ◇ 地区の米山記念奨学委員会から2016学年度の世話クラブとカウンセラーの引き受け依頼が来ています。被選理事会で協議していただくことにしたいと思います。

例会の貴重なお時間をさいて、本日こうして皆様の前で卓話をする時間を頂き厚く御礼申し上げます。私は、日本大学生産工学部4年の王怡韵と申します。世話クラブは佐倉ロータリークラブです。

自己紹介：(はじめに自己紹介を兼ねて、自分の出身国と現在の状況、家族、日本との出会いのきっかけ、自分の将来の目標と夢、大学での勉弓負の専門分野についてお話しします。)

私の故郷は中国の蘇州です。

淡水湖や河が多いので、東方の Venice と呼ばれます。水で育てられたから、男性も含めて性格は水のように優しいと言われます。両親は二人とも蘇州人で、母は漢方の薬剤師で、父はホテル関係の仕事をやっています。母は家族皆の身体を大切にしてくれますので、家族皆、健康です。また、父のおかげで、小さい頃から、様々なホテルに泊まったことがあります。私はホテルの中で、日本料理レストランに一番興味がありました。刺身をはじめ、寿司、うどん、ラーメン、お好み焼きなどは小さい頃からずっと大好きです。ただ、その時は単に美味しいと思って、好きになりましたが、中学生になってから、考え方が変わりました。日本の食べ物や製品は、作った人の真面目さ、さら

にはものに対する愛が込められているから、すばらしいのだと思うようになりました。その時から、日本のものだけではなく、日本が好きになりました。日本に来て最初は慣れてはいなかったのですが、日本文化やマナーにもだんだん慣れて来ました。

今、私の国も、日本も高齢者社会を目の前にしています、私の将来の夢、それも一生の夢は、そのような皆様に夢を与え、喜ばせることです。そのため大学での研究は自動車関係で、高齢者に対する運転支援システムの構築です。弱い立場の人々を支援するのが私の研究の目的です。

つぎにロータリアンとの交流で楽しみにしていることをお話しします。

ロータリアンは多くの方々が自分の分野で成功した方達だと思いますが、同時に長い人生の中で失敗を味わった時も必ずあると考えます。私はまだとても若いのですが、少し前までは何をやっても必死に成功したいと思っていました。今は全く変わりました。失敗してもいい経験だと思って、平常心で頑張れば良いのだと考えています。

ロータリアンの皆様との交流で、一番楽しんでいることは、皆様のストーリーをお聞かせ頂くことです。例えば、失敗した経験、成功した経験、恥ずかしかった瞬間、自慢の瞬間、もっとも悲しかった時、もっとも嬉しかった時、一番後悔したこと、一番癒されることなど。私は、静かに耳を傾け静かにその時々皆様の気持ちを感じとりたいのです。今の私は短い時間ではありますが、皆様との交流で、いろいろな人生を少しは共感できるように成長したと思います。

3 つめに日本にいる間に学業以外で学んでおきたいことをお話しします。

日本にいる間に学業以外で学んでおきたいことは沢山あります。私は一人っ子で、温室育ちのワガママで、人々との触れ合いは苦手です。いつも相手の立場を考えずに、自分の思ったまま言ってしまうなどの失敗をしてしまいます。中国にいた時は、いろいろな人々に好かれたこともありますが、嫌われた時もあります。昔の私は、嫌われても、あまり気にせず、ゆずらないので、問題は全然解決しませんでした。日本に来て、日本人のやり方を見ると、本当に勉強になりました。私ももっと良い人間になれるように少しずつ変えて頑張ってきました。どのようなところかという、例え

ば、電車の中で、人にぶつかった時は、相手が悪くても、日本人は自分から謝ります。車を運転する人は、歩行者を見たら、車を止めて、道を譲ります。また、偉い人でも普通の人々に優しくします。私のカウンセラーが言った通り、どんなに優秀であっても、それを鼻にかけることなく、他人の言葉に耳を傾ける謙虚さが人間を高めると常に思います。日本にいる間には学業も重要ですがもっと重要なことは人々の良い性格を学んで、身につけることだと思います。

4 つめは将来の自分の専門分野での計画についてです。

私の研究は高齢者に対する先進運転支援システムに関するものです。高齢化に伴い高齢ドライバー数は増加していく傾向にあります。同時に交通事故による高齢者ドライバー死者数の増加傾向が顕著であることがわかりました。そこで、高齢者に対して、安心安全な運転支援システムが必要と考えております。ここで、構築したい支援システムは自動走行技術も組み込みます。現在アメリカで行われている自律走行車両グーグルカーと同じように、周辺環境認識のため、カメラ、レーダセンサーやレーザセンサーも必要となります。GPS等を用い自己位置測定し、他の車両、歩行者とのスペースを認識し、熟練ドライバーモデルより行動決定します。同時に、ドライバーの操作を監視します。そのために、運転中シートの重心位置変化の軌跡から、ドライバーの操作を予測します。これらのことから、高齢者にとって、より受容性の高い運転支援システムを構築します。また、2020年度の東京オリンピックで自動走行バスを走らせるため、今年度から、私の所属している景山研究室が自動走行に必要なバス特性など、制御系に関する基礎研究に参加します。私も自律操縦班の一員として頑張りたいと考えております。

5 つめは将来の国際交流について考えていることをお話しします。

ロータリーの理念である「世界においては、親善と平和の確立に寄与することを指向すること」、またロータリー全員の行動基準である「四つのテスト」は自分にとっても国際交流の基本になる考え方です。

1. 真実かどうか、2. みんなに公平か、3. 好意と友情を深めるか、4. みんなのためになるかどうかをいつでも心の中にかみしめ、言行はこれに照ら

してから、「Of the things we think, say or do」。
また、国際交流では、相手は誰か、どこの出身か、
今回の交流目的は何かなども考えないといけません。

その時、例えば、学術、文化や歴史分野など、自
分は何を伝えたいのを事前にしっかり準備し、目
的を明確にし、それを達成するように頑張ります。
ただ、今やるべきことは、まず、日本語と英語の
能力を身につけることです。そして、中国と日本
の文化を学習し、様々な文化の中で、素晴らしい
部分を世の中へ伝えたいと考えております。
最後にロータリアン、世話クラブやカウンセラー
との奨学期間終了後の関わり方についてお話しし
ます。

奨学期間終了後も、ロータリアン、世話クラブ
やカウンセラーとの連絡はとても重要だと思っ
ております。奉仕活動の参加はもちろん、会員の交
流、友好事業等も深めたいと思います。奨学生の
私はロータリーの活動に入れていただき、一年間
佐倉ロータリークラブにお世話になります。奨学
期間終了後も、定期的に私の状況をカウンセラー
と世話クラブに報告したいと考えております。そ
して、将来ロータリアンになれるように頑張りたい
と思います。

その理由は、ロータリーの公式徽章に答えがあ
ります。

ロータリーバッジは、6本のスポークと24の歯及
び1つのかぎ穴からなる歯車をデザインしたも
ので、バッジをつけている時は、次のことを意味
しています。

1. あなたは、私を信用していただいて結構です。
私は信用に値する看です。
2. 私の用意はできています。何時でも、あなた
のために奉仕できます。
3. 私は受ける以上のものを、あなたに与えます。
私は人のために奉仕します。

米山奨学金に寄付金を出してくださるロータリア
ンの皆様は“思いやり”とか“人のために”とい
う心構えを持っていると考えております。米山記
念奨学生になることができ、実際に奨学金を受け

るようになって、私のような奨学生の生活や学業
への支援だけではなく、ロータリアンの皆様から
の愛を強く感じられるようになりました。「与える
ことは最高のコミュニケーションだ」、このような
素晴らしい気持ちを、今のロータリアンの皆様と
同じように、次の世代に伝えたいと思います。
人生は長いと思ったら長いですし、短いと思っ
たら短いです。人間はどこまでいけるかは自分自身
では分かりませんが、一生懸命生きればどこで止
まっても、最後に一生の流れを回想すると、良い
ことしか残っていないのではないのでしょうか。



二 〇 二 〇 二 〇 〇

佐野会員

今年初めての例会出席です。
今年も宜しくお願い致します。

武田（孝）会員

前回出席できませんでした。
あけましておめでとうございます。
今年も宜しくお願いします。

*25周年DVDの寄付が13,191円でした。

合計18,191円

累計 606,191円

創立：1991年1月21日
認証：1991年3月6日
例会場：ホテルニューオータニ幕張
点鐘：毎月曜日 18：30

事務局：千葉市稲毛区穴川 3-5-27 上総ビル 303
TEL：043(251)2790 FAX043(251)2726
Email：chiba-higashi_rc@jazz.odn.ne.jp
URL：<http://www.chiba-higashi.jp/>

発行 千葉東ロータリークラブ 会報委員長 藤本 俊哉